

全く妾の不江意より起ることで、誠に子供に對し申譯のなきこととあります。之につけても子供は初めの躰の尤も肝要であることに氣づきました、就ては妾どもにもまた乳呑兒もありますから此等の子供の躰方は前申上ました主義で父母は自分を大切にしてお下さる愛情深き方なれど去りとして我儘なる不規律は到底出来ぬものと思はしむる様にいたしたい、しかし茲に一つの困難なる事があります、夫は今日の社會は一般に不潔なる事であります、子供の見るもの開くもの學校と注意の崩きたる家庭以外には、大体ためにならぬ悪しき事ばかりで、折角骨折して子供によき習慣をつけましたも、僅か一兩日の中に破らるゝ事がありません、さりとて内く學校と家庭以外を見せぬといふは、主義を實行する上に大なる障害を生じます、此點に於ては實際うまい考へがありません。

右は用だ女の身として差出がましき様なれども聊か妾が經驗の一斑を記して讀者諸君の御批判を乞ひ、家庭の教育法につき、よき手段と方法とを承はりたのであります。

孤兒教育の一斑

樂 天 子

文明の程度低く、徳義の觀念薄かりし時代に於て孤兒養育の大事業を經營したることは、經營者の頗る困難を感ぜしことならんも、我國の慈善事業としては、割合に古き歴史を有し、他の慈善事業に比較しては割合に發達せるは、孤兒養育事業なり、然れども、吾人は孤兒の教育の點に於て、多少遺憾の感なき能はず、そは各經營者の多くは孤兒をして早く自活せしむるを目的となし教育を然し居ることなりとす、孤兒養育事業としては、年數に於て相當の經營を有し、設備に於て全國有數と稱せらるゝ團體に於てすら、兒童の教育は高等小學程度を最上限となし、高等の教育を等閑し居るは争ふべからざる事業なり、全國の各慈善團體中現今收容の孤兒を官私立學校に通學せしめ、中等教育を授け、若しくは團體院内に於て同程度の教育をなし居る團體は百余の團體中總か

に大阪の汎愛扶植會、新潟の慈悲喜捨團、岐阜の日本育兒園、北海道の山谷孤兒院、相模の小兒保育院、東京帝國孤兒院、大阪聖約翰學院、東奧盲人教訓會、防長婦人相愛會、神戸孤兒院、東京育成園、神戸學習院、山陰慈盲家庭學園、高知育兒院、大阪孤兒院、播磨慈善會育兒部の十七團體に過ぎず、而して其所屬學校及員數は中學校十一名、商害學校八名、工業學校三名、農學校一名、染織學校二名、關西學院四名、同志社一名、盲啞學校一名、高等女學校五名にして、其他は團體内に受教者五十余名なり。右の如き少數の團隊と少數の人員とを現在の團隊と收容の人員とに比較せば、如何に孤兒養育事業の旺盛なることを謳歎せんとする人も、養育の實質に於て、不完不備なることを、拒む能はざるべし、個人の教育は國家にとりても利益なりとせば、國家は時世の進歩に従ひて、國民の義務教育を、延長するの必要あるごとく、個人の發展は社會の進歩を促すものとせば社會は不幸なる同胞即ち恃怙なき孤兒の教育を保護せずして可ならんや、俊秀なる孤兒の才能を

發揮せしめずして可ならんや、今や文運の進歩に促されて、孤兒養育事業も亦大に發展せんとするの時、吾人は仁慈に富める志士と共に割合に古き経歴と割合に多くの設備ある孤兒養育事業に一臂の力を添へて完全に發達せしめ、折角の事業をして、遺憾なきを期せしめんことを欲するものなり

此頃の料理

石井泰次郎

茄子のしき焼
 茄子は成るべく大なる宜しきものを撰び薄刃庖丁にて皮をくるくると剥き、直に水に取り入れてあくを出し（皮は剥かすともよし）、洗つて三分位の輪切りになし、竹串或は金串にさし、(四五切列)へ置きて串二本さすなり、兩面に胡麻の油をぬり能く中まで油の染みるやう、細串にてつゝき、いくつも小ささを穴をわけ、かくて火に掛け焼くなり返しししながら柔らかになる迄焼き、煉味噌を